学校番号	３０４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史　日本史探究（山川出版社）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史演習では、日本史探究で十分に扱うことが難しい諸史料、特に大学入試で出題されることが多い奈良時代から江戸時代までの史料を主な教材として授業をすすめていきます。史料を中心とした学習を通じて、我が国の歴史に対する理解を深め、歴史的思考力も深めてほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・諸史料から様々な情報を読み取ることを通じて、我が国の歴史の諸事象について理解し、理解したことをまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・諸史料の読み取りを通じて、歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考することができる。また、それを表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・諸史料の読み取りを通じて、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	諸史料から様々な情報を読み取ることを通じて、我が国の歴史の諸事象について理解し、理解したことをまとめる技能をみにつけるようにする。	諸史料の読み取りを通じて、歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考することができる。また、それを表現することができる。	諸史料の読み取りを通じて、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究する態度を身につける努力をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古代・中世	・古代の諸史料 ・中世(鎌倉時代)の諸史料	a:古代の史料、特に律令体制に関するものや奈良時代から平安時代の土地制度に関わる諸史料から情報を読み取り、律令国家体制のしくみや奈良時代・平安時代の諸政策について理解している。 鎌倉時代の諸史料から情報を読み取り、鎌倉時代の政治の変遷・社会の変動・鎌倉時代の文化について理解している。 b:古代の諸史料から読み取れる情報をもとに律令国家体制の特徴や奈良時代や平安時代の土地制度の変遷について考察し、表現している。 鎌倉時代の諸史料をもとに北条氏の政治・社会の変動・鎌倉時代の仏教について考察し、表現している。 c:古代の諸史料から律令国家体制や奈良時代から平安時代の諸政策の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 鎌倉時代の諸史料から鎌倉時代の政治・社会の変動・鎌倉時代の文化についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 探究活動の記録・発表 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表
2学期	中世・近世	・中世(室町時代)の諸史料 ・近世前期から中期の諸史料	a:守護の権限拡大・土一揆や国一揆・日明貿易に関する諸史料から読み取れる情報をもとに、室町時代の政治の特徴、惣村の発達と庶民の台頭、室町時代の国際関係について理解している。 太閤検地や刀狩令、武家諸法度や鎖国令などの近世前期の諸史料から読み取れる情報をもとに、豊臣秀吉の政策や幕藩体制の確立・江戸時代の外交政策について理解している。 元禄・正徳期の政治や幕政の改革に関する諸史料から読み取れる情報をもとに、幕府政治の安定化や幕政改革について理解している。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 探究活動の記録・発表 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表

			b:室町時代の諸史料をもとに、守護領国制、惣村の発達と庶民の台頭、室町時代の外交について考察し、表現している。 織豊政権から幕藩体制の確立期までの諸史料をもとに、豊臣秀吉の政治、幕藩体制のしくみ、鎖国体制について考察し、表現している。 元禄・正徳期の政治や幕政改革に関する諸史料をもとに、元禄期と正徳期の政治の類似と相違、享保の改革と寛政の改革の類似と相違について考察し、表現している。 c: 室町時代の諸史料をもとに、守護の権限の拡大、台頭した庶民による一揆、室町時代の国際関係についての課題を見出し、主体的に追求しようとしている。 織豊政権から幕藩体制の確立期までの諸史料をもとに、豊臣秀吉の統治のしくみと幕藩体制のしくみとの比較を通じて、類似点や相違点を主体的に見出そうとしている。 元禄・正徳期の政治や幕政改革に関する諸史料をもとに、幕府の諸政策がもたらした人びとの生活への影響について、主体的に追求して明らかにしようとしている。			
3学期	近世	・近世後期の諸史料	a:近世後期の諸史料から読み取れる情報をもとに、列強の接近と幕府の政治や外交政策の動揺、学問や町人を中心とする文化の発達について理解している。 b:近世後期の諸史料から読み取れる情報をもとに、幕府政治の動揺や外交政策の転換と町人を中心とする文化の展開との関連性について、多面的・多角的に考察し表現している。 c:近世後期の諸史料から読み取れる情報をもとに、列強の接近と幕藩体制の動揺や町人を中心とする文化の課題を見出し、主体的に追求しようとしている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 探究活動の記録・発表 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度